

## 宇金

話題の生薬に宇金(うこん)が有ります。宇金には大きく分けて春宇金、秋宇金、ガジュツが有リガジュツは胃腸薬として使われておりますが今話題になっているのは春宇金です。秋宇金は食品の黄色い色素としてタクアンやカレーに使われています。

春宇金には胆汁の分泌をよくし肝臓の働きを助ける事から色々の決定的治療のない肝臓病に民間療法として使われ始めております。もう一つの効果として胃腸薬に使われます。口内の粘膜刺激し唾液の分泌を出させ消化を助けると同時に胃を暖め働きを活発にし食欲が増進されるのです。

宇金の成分は数千種に及ぶといわれまだまだまだ解明されたとは言いきれません。生薬(植物性の薬用植物)の場合一つの成分のみをとりあげて生薬全体の効き目のように伝えられがちですがそのような話には注意したいものです。たとえば、宇金のクルクモールという成分が癌を抑制する働きがあるからといって決して宇金は癌に効くものではありません。

宇金の根であれば、生のものなら1日20g位で乾燥したものなら10g位が適量といわれています。宇金は、生薬を数種類組み合わせて使う漢方薬の原料には使われていませんが、民間薬という分類で評価されてきています。